

2018年11月22日

2018年度共修プログラム実施プロジェクト企画申請書(変更)

【】①派遣留学生を増やすためのプロジェクト

【○】②外国人留学生を増やすためのプロジェクト

プロジェクトタイトル Title of the project

新幹線の裏側を探る！～日本のものづくりの最前線～

プロジェクトメンバー Project members

グループリーダー	黒田悠真	電子工学科	B 1
サブリーダー	田矢将大	電気工学科	B 1
メンバー	手崎燎	エネルギー機械工学科	B 1
	Nyambu Nathaniel Mupe	機械工学専攻	M 1

プロジェクトコンセプトとその理由 Concept of the project and its reason

日本の新幹線はその安全性、速度、運行の正確性など世界的に見ても素晴らしいものである。加えてその設計は工学的に高度な要素が集まった、工学を学ぶ者にとって興味深いものである。そこで、新幹線をはじめとするさまざまな車両を開発・設計している各所を訪ねるプログラムを実施し、それをHP等で発信することは、日本への留学を検討している工学を学ぶ者に強くアピールできるものであると考えた。

必要経費 Necessary expenses

大型バスチャーター代(近畿圏内)	¥100,000-
新幹線移動費(京都-浜松)	¥150,000
事前訪問旅費	¥30,000-
印刷費	¥5,000-
翻訳・通訳等謝礼	¥30,000-
=====	
合計	¥315,000-

## プロジェクト実施スケジュール（企画、実施、報告）

### Schedule for carrying out the project (Plan, Carrying out, Report)

機械系教員のご紹介で JR 東海のご担当者様をご紹介いただき、浜松の新幹線整備工場への訪問を現在調整中。新幹線を用いて 10 名程度で訪問し、日帰りにてプログラムを実施予定。

また、商学部の教員のご紹介で鉄道総合技術研究所のご担当者様をご紹介いただき、新幹線設計に関する英語での講義、在来線製造現場の視察をさせていただくことを現在調整中。大型バスを 1 台チャーターし、30 名程度で近畿圏内一日完結のプログラムを実施予定。

共にスケジュールを現在調整しており、2 月中旬から 3 月下旬にかけて行う予定である。参加者の募集等は、スケジュールが確定し次第速やかにポスターを掲示するなどして行う。

また、実施後にはプログラムの報告を理工学部ホームページに掲載する。

### 期待できる成果 Expected results

単に有名であるだけでなく、日本が世界に誇る新幹線を含む電車の設計担当と交流する機会を設ける予定である。そのため、単に本学のホームページやパンフレットを見た時にアピールできるのみならず、活動報告自体が検索に強いものとなることが予想されるため、本学への留学を検討していなかったものへもアピールのチャンスを増やせる可能性が見込め、広報ツールとして大きな成果があると考えられる。

事後アンケートも実施するため、継続的な活動とすることが可能で、年度をまたいだ広報ツールとできると考えている。

### その他留意する事項 Other points of concern

訪問先の方とやり取りを行う際は、コーディネーターの先生に事前に相談し、企業に失礼や誤解のない対応を心がける。参加者には、事前に保険加入の有無を確認し、万が一の事態に備える。訪問先とは守秘義務や著作権などについて、また活動報告を HP 公開する際にも問題のないことなどについて確認する。その際高度な情報を扱いうるため、確実に文書にて覚書等を作成し、周知する。そのため文書は日英の 2 言語で作成する。専門性の高い語句が多く使われることが予想されるため、日本語の堪能な外国人留学生に翻訳・通訳等を依頼する予定である。活動報告を HP 公開し、その際写真を利用することを含めて事前に参加者から了承を得る。

以上